

子ども・子育て支援事業について

町長

一人一人の子どもが健やかに成長が出来る
社会の実現に向け努力する



古谷 眞司 議員

町長

①一つに私立幼稚園全てが認定こども園となり、幼児期の学校教育、保育の総合的な提供が出来たと考える。

古谷 平成30年度から実施される統合保育事業は子ども・子育て支援事業計画の第1章の目的、さまざまな課題の解決、全ての子どもに良質な育成環境の保障、健やかに成長する社会の実現とあるが、達成できているか。

②放課後児童クラブの受け入れ体制について、平成30年度の予定、また、平成31年度での計画で示している小学6年生までの受入等、計画遂行予想を伺う。

二つに、平成29年3月現在、公立保育所入所児童218名に対し、統合保育所及び認定こども園を合わせて305名分の受け皿を確保した。しかし2幼稚園では土曜保育が平成30年度からの実施が難しい状況で、土曜保育を必要とする幼児を公立保育所で受け入れる状況となり、新規の申し込みに対して待機の可能性があるのが課題だ。

三つに、子育て支援センターを統合保育所に移設され、南児童館との機能が保たれ、運営についても人員を確保し、より充実した施設となるよう努める。また、平成30年度より教育委員会に早期支援コーディネーターを配置し、保健や医療、福祉などの関係機関と連携しながら、幼児期からの子どもたちの状況を把握し、支援が必要とされる子どもや保護者に対しての支援体制を構築する。

②平成30年度は各小学校50名から60名の人数。しかし運営については利用希望者が多い場合は、やむを得ず低学年の児童を優先に利用決定をしている。

平成31年度における計画遂行予想については、支援員の確保、既存公共施設の利活用や、民間施設の借り上げ等を視野に入れた場所の確保を行い、計画を遂行できるように努める。

古谷

全ての子どもに良質な育成環境を保障するためにも第2号認定の実費徴収負担分補助を拡大すべきではないか。

町長

施設側と調整をして、平準化を図って、その分を町が対応策も含めて整理していく。公平性、あるいは負担のあり方について考えるべき点であると思う。

その他「小中高生の俱知安町の未来への参画について」「小中高が繋がった教育について」を質問しました。



俱知安町立くっちゃん保育所ぬくぬく

一般質問 古谷眞司